

令和元年度田中児童館目標及び報告

田 中 児 童 館

	目 標 (P)		実 践 (D)	気づき・反省 (C)	次への期待 (A)
サービスの質の向上	子育て支援の強化	(在宅育成事業) 親子館事業の充実	ママズ' ネット (午前中の親子館事業での「親業」講習とお茶会)活動年間3回実施	初めてママズ' ネットを実施してみて、ボランティア講師の中谷さんの講習も好評であった。お茶を飲みながら日頃の悩みなどを話すことでお母さんたちが良い顔でお話ししていたので来年度も引き続き続けていく。	講習時間に子どもたちが飽きないよう、サブの先生が子どもたちを見られるようにしていきたい。また、保護者とお茶を飲みながらほっこりできる時間を増やし、来館しやすい雰囲気作りに努めていきたい。
			親子館事業の充実 (利用しやすい環境づくりに努める、夏休みの居場所づくり)	今年度は、なかよしひろばの担当が年度途中で代わってしまい、保護者子どもともに不安感を与えてしまった。 10月から新しい担当者を2名配置し、円滑な運営に努めた。	保護者及び子どもとの信頼関係を築いていき、子どもと一緒に遊べるプログラムやゆっくり過ごせるプログラムなど、様々な楽しみを用意していきたい。 夏休みは学童でいっぱいなので居場所がないが学童と一緒に出来るようなプログラムを考えていきたい。
			SNSでの配信	よいこネットを今年から取り入れた。親子館事業ではすこやかクラブのみの利用となった。利用者からは情報がすぐに得られると好評であったので続けていきたい。	よいこネットを取り入れたことで配布物や関係書式をご家庭でもダウンロードできるようになった。 さらに充実させていきたい。

	目 標 (P)		実 践 (D)	気づき・反省 (C)	次への期待 (A)
サービスの向上	児童育成の拡充	ボランティア協力行事等の充実	ポテトキッズ（甲南大学文化児童福祉研究会）やおはなしの会、おはなしや、元気っこの会、M's アンサンブル等のボランティア行事を実施。	ポテトキッズ（甲南大学文化児童福祉研究会）は年 7 回、おはなしの会、おはなしや、元気っこの会は月 1 回実施した。子どもたちが楽しんで行事に参加していた。	ポテトキッズでは引き続き、行事計画を確認し、子どもたちが安全に遊べるように配慮していく。
地域との共生	地域との連携を図る	（地域連携推進事業） ボランティアの育成と社会参加の機会の提供	すこやかクラブに年間を通して託児や補助などでも参加してもらう。	親子館事業でのボランティア活動を中心として行っており、幅を広げていける様に活躍場を増やす。	社会資源としてボランティアの活用を進め、積極的な活動となるように事前に話し合いを持つ。
		（子育てコミュニティー育成事業） 日曜開放委員と共に地域の親子を対象に行事を行う	年 10 回の行事を実施。	運営団体が変わり、地域の方々と信頼関係を築いた一年になった。 日曜開放以外でもグランドゴルフなどの地域行事に参加することが大切だと感じた。 年間 10 回開催予定であったが新型コロナウイルスの関係で 3 月のイベントは神戸市子ども青少年課と相談の上中止とした。	地域に溶け込むのはなかなか難しいと感じる 1 年であった。 日曜開放委員の方が中心となった活動を来年度も続けていきたい。 田中の地域は青少協等の団体の繋がりが強いので地域との共生をさらに強められるようにしていく。
		ふれあいのまちづくり協議会の協力し、地域について知る	安全クリーンパトロールの実施。子どもたちと地域を歩きながら防災について学ぶとともにゴミ拾いをして町をきれいにする。	年 2 回実施。 地域の方が住吉川やくび地蔵、防災広場などを案内してくださり、子どもたちも意欲的に参加していた。	継続して続けていき、児童館周辺の「まち歩き」をすることで子ども自身の危機回避能力の向上を図っていく。
	年間利用数	学童保育クラブ年間利用者予定数（23,000 名） 自由来館年間予定数（5,500 名）の受け入れをする	学童クラブ 11,001 名 自由来館 10,713 名 受け入れがあった。	初年度ということもあり、学童保育クラブと自由来館の予定数がうまく見込めていなかった。	来年度は登録児童数も 100 名を予定しており、来館者数の増が見込める。その分過密になる可能性が高いので職員配置、遊び方について気を付けたい。